

エアカーゴ最前線



首都圏編 17

富士運輸成田支店は車両90台、スタッフは成田空港内を合めると100人強の体制。24時間年中無休営業だ。事業内容は、空港間のO.L.T(保税運送)をはじめとする航空貨物関連輸送を軸に、郵便輸送、大手メーカーの専属便、定期路線運行を手がけている。航空貨物についてはO.L.T



津田篤 営業課長

富士運輸成田支店

とともに、フォワーダーの貨物のエアライン搬入なども手がけている。成田空港関連では、空港内の第2貨物代理店ビルに成田オペレーションセンターがある。O.L.Tは成田ー関西国際空港をメインに、成田ー中部国際空港、成田ー福岡空港を主要路線。現在、成田空港到着の輸入貨物を関西に輸送するニーズが増えているという。また成田と羽田間の輸送サービスも手がけている。羽田のO.L.T内にも2010年9月ACIにも2010年9月に業務所を開設している。東日本営業部の津田篤・営業課長はO.L.Tについては、航空会社のフライトスケジュール次第で、ニーズも大きく変わる。フレキシブルに対応する必要があると説明する。O.L.Tのサービス品質向上を目的に、自社車両の増車も検討している。現在、富士運輸には96台型パレット対応車両が約180台あるが、今年夏までに200台以上に拡大する計画。同タイプの車両は成田とともに、中部、関西、福岡の各拠点にも配備される計画だ。一般貨物にも対応す

最新式車両で「見える化」



成田支店はO.L.Tをはじめ各種サービスを提供

るためのウィング車両も積極的に導入している。た。積載効率を上げるために、ボディの長さが10以上のロング車両の導入にも積極的だ。積載効率を上げるために、ボディの長さが10以上のロング車両の導入にも積極的だ。

グ車両も積極的に導入している。た。積載効率を上げるために、ボディの長さが10以上のロング車両の導入にも積極的だ。積載効率を上げるために、ボディの長さが10以上のロング車両の導入にも積極的だ。

では40位内に入っているという。さらに夏までに96台パレット車を50台増車するなど、体制をさらに強化する。

全社で安全輸送、コンプライアンス重視を方針として掲げるとともに「車両の見える化」を進めている。同社は「お客様はパソコンから、GPSによる車両位置情報や環境規制対応車両かどうかなどを含めた車両詳細情報の確認が出来る」と説明。なお、この仕組みは09年に経済産業省から「推進企業の表彰を受けている。」

△データ▽
 〒286-0221千葉県
 富里市七栄650-85▽電話
 0476-190-1298 1▽フ
 アクス0476-190-1298
 7